

都市計画法43条「建築等許可」添付書類(既存の建築物の用途の変更等)

提出部数 正副2部

書 類 ・ 図 面 名		留意事項(よくある補正事項など)	チェック
1	申請書	宛名は「白岡市長」とする	
2	委任状	代理人による申請の場合に添付	
3	理由書		
4	土地全部事項証明書	申請時前 6ヶ月以内 のもので最新の登記事項が記載されているもの	
5	土地・工作物の所有者の同意書	申請者以外の所有者がある場合	
6	土地・工作物の所有者の印鑑証明書	申請時前 3ヶ月以内 のもの 土地全部事項証明書と印鑑証明書の住所が違う場合は、転居がわかるもの(住民票など)も添付する	
7	工場に関する調書	予定建築物が工場の場合	
8	申請地現況写真(カラー写真2方向以上)	区域朱書き及び撮影方向を図示(現況図や土地利用計画図に図示でもよい)	
9	都市計画図(原図又はカラーコピー)	区域の朱書き、方位、縮尺を記入	
10	公図の写し【法務局で取得した原本】	区域の朱書き、申請時前 6ヶ月以内 のもの	
11	敷地現況図 1／500以上	区域の朱書き、方位、縮尺、杭の種別、土地利用の状況を記入	
12	求積図(三斜法または座標法) 1／500以上	区域の朱書き、方位、縮尺を記入、杭間距離を記入	
13	土地利用計画図 1／1,000以上	予定建築物の配置と用途を記入 接道する道路の種類と幅員を記入 開発区域の朱書、方位、縮尺を記入 ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数・構造を記入 桝、排水管等の口径、材質を記入 杭間距離を記入 土地の利用種別ごとに色分け	
14	排水施設計画平面図 1／500以上	貯留施設を複数設置する場合などは、排水区域の区域界を記入 設置する桝を全て記入し、配管も図示する(桝の設置間隔は、管径の120倍以内等) 桝、排水管等の口径、材質を記入	
15	排水施設の構造図 1／50以上	最終桝、雨水浸透桝、浄化槽認定シート、オイルトラップ構造図等 道路側溝等に放流する場合は接続断面図(雨水の場合、接続管の口径は75φ以下) 最終桝・雨水桝の泥溜は、150mm以上確保する	
16	擁壁・土留の構造図 1／50以上	擁壁の場合は構造計算書・地耐力の根拠(ボーリングデータなど)を添付する 土留めにするブロックなどは、配筋(ピッチ等)を記入	
17	雨水及び汚水流量計算書	開発区域が1ha以上の場合は、県河川砂防課の許可書等添付	
18	排水放流許可書等		
19	水路占用許可書、道路占用許可書		
20	その他、許可権者が必要と認める書類	34条各号への用途変更の場合は、その添付書類	

審査項目	標準添付書類	
既存の建築物は建築後20年又は5年を経過していること。	既存建築物の建物全部事項証明書	
	家屋の課税(所在)証明など	
既存の建築物の敷地と同一の敷地において行われること。	既存建築物にかかる建築確認通知書など	
建築後20年未満の建築物の現在の使用者が破産その他の事由を有すること	破産宣告書の写し	
	転勤証明書	
	所得証明書など	

※すべての図面に、図面名・縮尺を記入してください。

※各設計図面には、作成者の氏名を記載してください。